



Title	中川研究林におけるアライグマの生息状況調査
Author(s)	浪花, 彰彦
Citation	北方森林保全技術, 第32号, 12-14
Issue Date	2015-03-23
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73042
Type	departmental bulletin paper
File Information	2013-32_1-2.pdf



I-2 中川研究林におけるアライグマの生息状況調査

浪花 彰彦

中川研究林

はじめに

我が国では、外来来種であるアライグマが野生化し、農業等被害の増大や生態系への影響、人に対する衛生被害等が懸念されている。北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション中川研究林(以下、「中川研究林」と略す)の周辺町村においても、近年アライグマによる農業等被害額、自治体による捕獲数ともに増加しており、この地域でのアライグマの増加が懸念されている。しかしながら、アライグマの分布拡大を示す客観的なデータであるアライグマによる農業等被害額と自治体によるアライグマ捕獲数の情報は、主に農村部周辺のみで収集されており、人口密度の少ない森林部におけるアライグマの生息状況を把握するための情報はこれまで収集されてこなかった。

中川研究林においても、近年アライグマの目撃情報等が増加しているが、研究林内でアライグマがどのように分布しているかという情報はこれまで得られていなかった。そこで、中川研究林におけるアライグマの生息状況調査を行った。

調査方法

2011年から2013年の無積雪期3シーズンにわたって、中川研究林におけるアライグマの生息状況に関する情報を収集し、「アライグマ生息情報地図」を作成した。地図に掲載したのは、「直接視認地点」・「赤外線センサー式自動撮影カメラによる撮影地点」・「アライグマの足跡を確認した地点」の位置情報である。

直接視認地点については、研究林の教職員が直接アライグマを目撃した場合で、目撃箇所の位置情報が明確に得られた場合にのみ、その目撃位置を記録した。

赤外線センサー式自動撮影カメラによる撮影地点については、中川研究林が琴平地区で行っている「動物環境利用特性調査」で、2011年から2013年にかけてアライグマが撮影された地点を記録した。「動物環境利用特性調査」で使用した赤外線センサー式自動撮影カメラを図-1に、カメラの設置地点を図-2に示す。



図-1 赤外線センサー式自動撮影カメラ



図-2 自動撮影カメラ設置地点

「動物環境利用特性調査」は毎年7～8月の約40日ずつ実施しており、カメラの設置台数は年平均で約30台であることから、自動撮影カメラによる調査の努力量は、30地点×40日×3シーズン＝延べ3,600日程度であった。

アライグマの足跡情報については、中川研究林内を流れる天塩川の主要な支川沿いに踏査を行い、アライグマの足跡を発見した箇所の位置情報をGPSで取得して記載した。なお、アライグマに関しては、周辺町村の農村部で分布を拡大している傾向があり、河川沿いに分布を拡大する傾向があることが指摘されていることから、各支川ごとにアライグマの足跡がどこまで上流に到達しているかという視点で踏査を行った。したがって、支川のある地点でアライグマの足跡が発見された場合には、それより下流での踏査は行わず、より上流でアライグマの足跡を見つけるように務めた。足跡調査にかけた努力量は延べ6人・日程度であった。

結果と考察

本調査の結果、作成した中川研究林におけるアライグマ生息情報地図を図-3に示す。

研究林の主要支川のほとんど、しかも多くの河川で林道からアクセスが可能な最上流域でアライグマの足跡が確認された。このことは少なくとも無積雪期において、研究林の河川流域の多くがアライグマの活動域になっている可能性が高いことを示唆している。実際のアライグマの分布域や侵入経路等に関しては、今回のような簡単な調査では知ることは出来ない。このような情報を得るためには、GPS首輪等を利用したテレメトリー調査のような詳細な調査を行う必要があるが、今回の調査で、これまで全く情報がなかった研究林内の広大な森林を対象としたアライグマの生息情報が得られた意義は大きいと考える。

中川研究林でアライグマが広範囲に分布している可能性は極めて高い。今後はアライグマが生態系にどのような影響を与えるかを見極め、駆除等の措置についても検討していく必要があるだろう。研究林の森林を管理する技術職員として、今回の調査結果を真摯に受け止め、危機感を持ってアライグマの問題に対処する必要性を強く感じる。

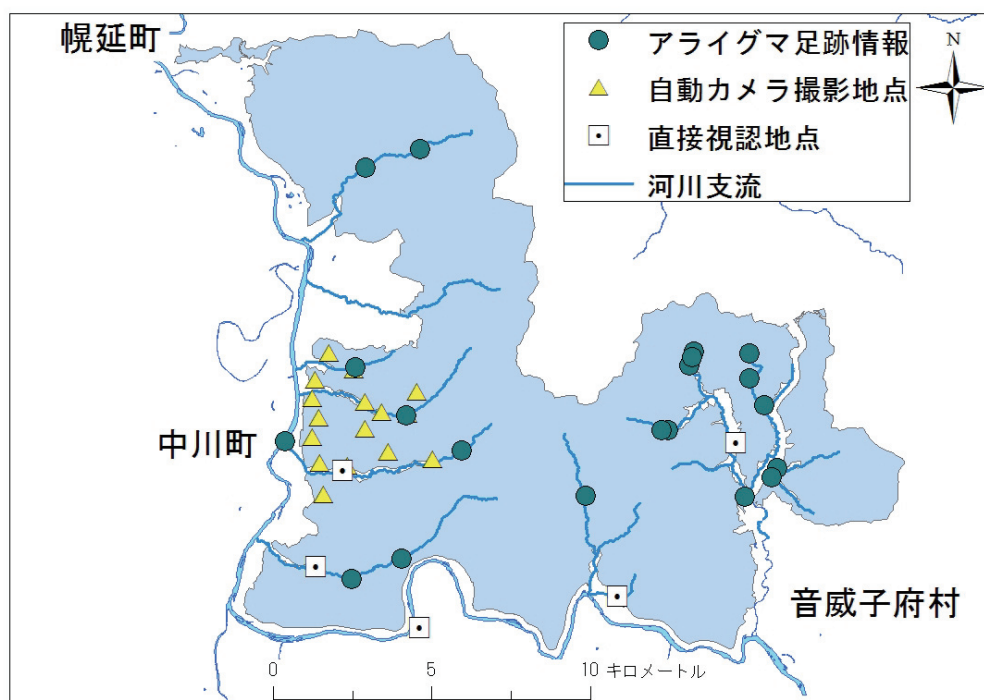


図-3 中川研究林におけるアライグマ生息情報地図

参考文献

- 浅野玄ほか, 2003, 北海道における移入アライグマ (*Procyon lotor*) の繁殖学的特性, *The Journal of Veterinary Medical Science*, 65(3), 369-373
- 池田ほか, 2001, 野幌森林公園地域におけるアライグマの行動圏, 酪農学園大学紀要 自然科学編, 25(2), 311-319
- 環境省近畿地方環境事務所, 2008, 近畿地方アライグマ防除の手引き
- 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室, 2011, アライグマ防除の手引き (計画的な防除の進め方)
- 環境省北海道地方環境事務所ほか, 2008, 地域からアライグマを排除するための手引き
- 北海道, 2009, 北海道アライグマ防除技術指針
- 北海道, “アライグマ対策のページ”, (参照日 2014/04/30)
- http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/araiguma/araiguma_top.htm